

平成 13 年 10 月 11 日

各 位

上場会社名 株式会社ドン・キホーテ
代表者名 代表取締役社長 安田 隆夫
(コード番号 7532 東証 市場第一部
ナスダック・ジャパン市場)
問合せ先 取締役経営戦略本部長
高橋 光夫
TEL 03-5667-7511 (代)

上場会社名 そうご電器株式会社
代表者名 代表取締役社長 岸田 典正
(コード番号 8177 札幌証券取引所)
問合せ先 取締役管理本部長 菊地 進
TEL 011-214-2921 (代)

株式会社ドン・キホーテとそうご電器株式会社の

資本提携及び業務提携について

平成 13 年 10 月 11 日開催の株式会社ドン・キホーテ及びそうご電器株式会社の取締役会において、両社は今後の事業の拡大発展を図るため、下記の通り資本提携及び業務提携を行うことに合意し覚書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 提携の趣旨

わが国の長期化する不況のなか景気回復のリード役を果たすべき消費も冷え込み、小売業界全体は依然として厳しい状況下にあります。このような変革の時代に、「ビッグコンビニエンス&ディスカウント」という新業態を標榜してきた株式会社ドン・キホーテは業績も順調に推移しており、全国展開を視野に入れた積極的な店舗網の拡充をはかっております。反面、家電流通業界は価格競争の激化、大型店舗化による資金負担増加に起因する財務体質の悪化等のなかで経営統合など大きな変革期に遭遇しております。

このような状況のもと、北海道最大の家電量販店であるそうご電器株式会社は、中期経営戦略「そうご電器リバイバル2001」を策定し、収益力と財務体質の強化を柱とする経営の再構築に取り組んでいます。

両社は業務提携により、それぞれの持ち味を生かし、お客様の多様化するニーズに即応した体制をつくることを目指します。

具体的な提携内容は以下の通りです。

2. 資本提携の内容

- (1) そうご電器(株)が第三者割当により発行する新株式 170万株を(株)ドン・キホーテが全株引受けます。
- (2) 新株式の発行価格は、札幌証券取引所における 10月15日(月)以前過去1ヶ月以内の終値の平均株価を基準として決定します。
- (3) この第三者割当増資により、(株)ドン・キホーテはそうご電器(株)の筆頭株主(5.03%)となる予定です。
- (4) 詳細については、10月15日(月)開催予定のそうご電器(株)取締役会にて決定します。

【第三者割当増資後の株主構成】

1	ドン・キホーテ	1,700(千株)	5.03(%)
2	(株)北洋銀行	1,081	3.20
3	自社社員持株会	1,042	3.08
4	ソニーマーケティング(株)	1,034	3.06
5	沖田(株)	1,006	2.98

3. 業務提携の内容

- (1) そうご電器(株)の既存店を「ドン・キホーテ店」もしくは「ピカソ店」への業態転換を推進することによって、当該店舗の活性化と効率性の向上を図ります。提携店舗は両社の間にバリアーは設けず、一体感のある店舗とし、基本設計は(株)ドン・キホーテが行います。
- (2) そうご電器(株)のオキドキ事業部門の運営について、(株)ドン・キホーテは積極的な支援を行い、同部門の拡大強化に協力します。
- (3) 双方の得意分野を活かせる部分について、共同仕入れを行います。
- (4) 双方従業員の出向受入を中心とする人事交流を行います。
- (5) 配送、工事等サービス部門の業務に関して協力体制を構築します。

4. 提携店舗について

(株)ドン・キホーテとそうご電器(株)は、平成14年2月を目処に、北海道札幌市において、初の「提携店舗」を開設します。

当該店舗は、そうご電器(株)の既存店(YES札幌インターネット館)であります。

〔札幌店〕

北海道札幌市中央区南2条西三丁目

今回の提携店舗の開設により、お客様の利便性を高めるとともに、夢と驚きのある商品構成とサービスを提供して参りたく存じます。

(株)ドン・キホーテとそうご電器(株)は、今後も提携店舗の展開を促進するなど、さらなる協力関係の構築を推進して参ります。

尚、それぞれの提携内容の実行策については、今後両社共同して具体化を図るため、現時点における業績見通しに変更はありません。

以 上